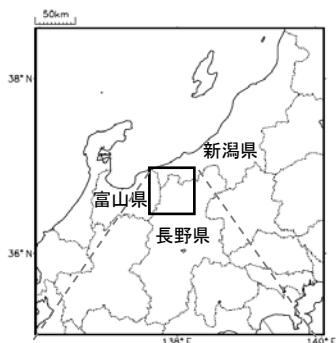
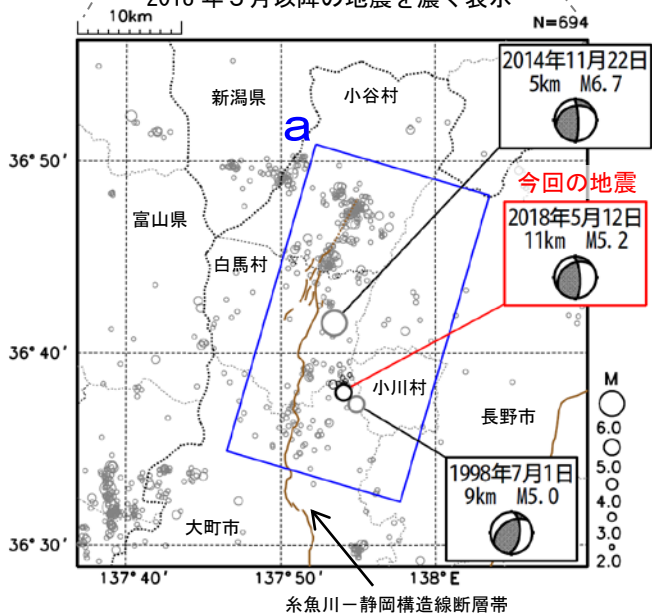


5月12日 長野県北部の地震



震央分布図
(1997年10月1日～2018年7月31日、
深さ0～20km、 $M \geq 2.0$)
2018年5月以降の地震を濃く表示



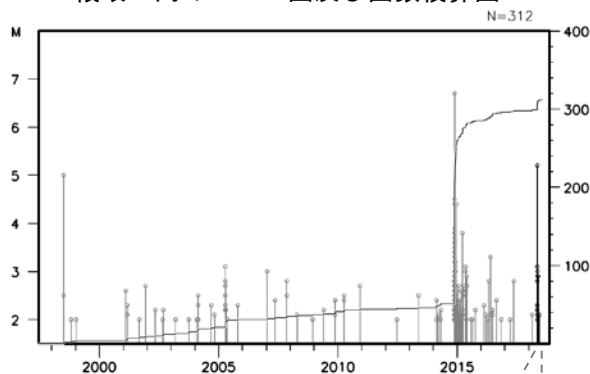
図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

2018年5月12日10時29分に長野県北部の深さ11kmでM5.2の地震(最大震度5弱)が発生した。この地震は、地殻内で発生した。発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ型である。

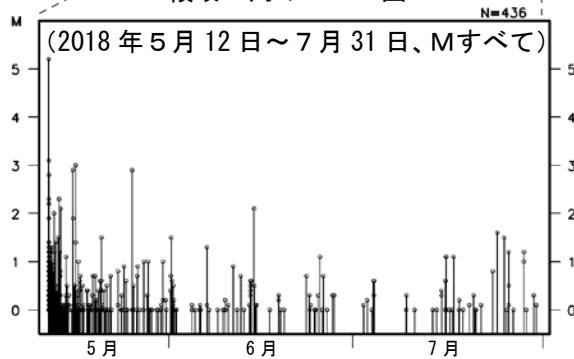
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域a)では、1998年7月1日にM5.0の地震(最大震度4)の地震が発生している。また、2014年11月22日にM6.7の地震(最大震度6弱)が発生し、負傷者46人、住家全壊77棟などの被害が生じた(被害は、総務省消防庁による)。この地震は、神城断層(糸魚川-静岡構造線断層帯の構成断層のひとつ)の北部で発生した(「糸魚川-静岡構造線断層帯の長期評価(第二版)」による)。

1923年以降の活動をみると、今回の震央付近(領域b)では、1986年12月30日にM5.9の地震(最大震度4)が発生している。また、領域bの周辺で1965年から発生した「松代群発地震」では、負傷者15人、住宅全壊10棟などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。

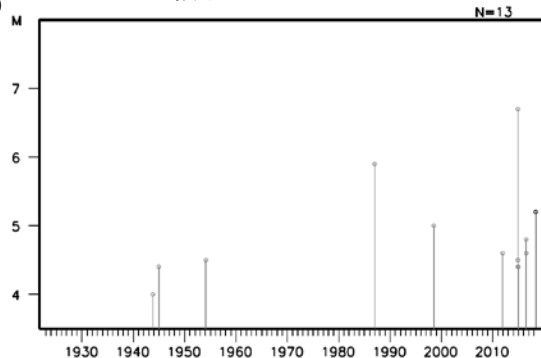
領域a内のM-T図及び回数積算図



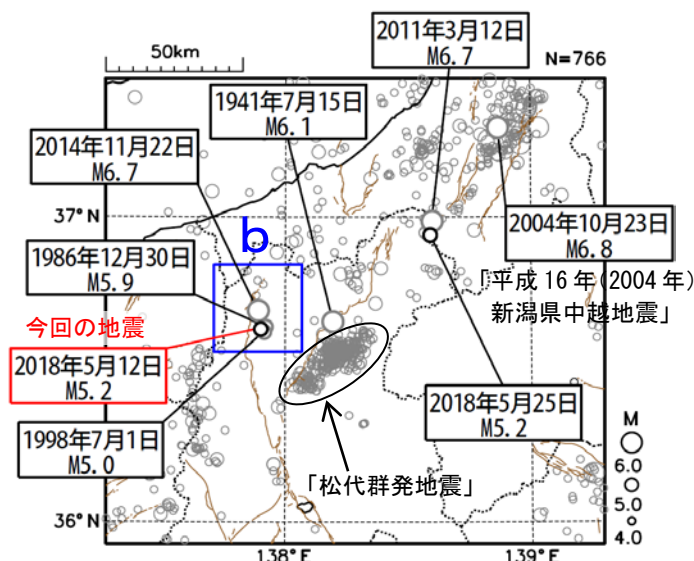
領域a内のM-T図



領域b内のM-T図



震央分布図
(1923年1月1日～2018年7月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 4.0$)
2018年5月以降の地震を濃く表示



図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。